

理事長年頭挨拶

新年、明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては心健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶びを申し上げます。

また、旧年中は（公社）神栖市シルバー人材センター（以下、センターと記載）に対しまして市民の皆様をはじめ、神栖市行政当局、市内の各事業所、そして関係各位の皆様のご支援とご協力を賜りまして、心より厚くお礼を申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染状況につきましては、昨年は減少傾向になり、国は昨年5月8日付けにて新型コロナウイルスは感染症法上の分類を「2類」から「5類」に引き下げられました。ただ、その後、昨年の11月下旬より全国的に感染の方は増加傾向でございます。現在は、その様な状況でございますので会員の皆様におかれましては、今後も感染の予防策実施をお願い申し上げます。

センターにおきましては昨年の10月頃までは感染は減少傾向でありましたので、独自事業の「元気朝市」は昨年1月から「ふれあいカフェどうの池」は昨年6月から再開を致しました。

そして、ボランティア活動等につきましては「日川浜の海岸清掃」、「神之池の神栖花火大会後の会場周辺清掃」、「かみすフェスタ2023・消費生活展への出店」を実施致しました。

新型コロナウイルスの感染につきましては1日も早く終息する事を心より願いたいと思っております。

我が国の高齢者の方の人口は、65歳以上の方は3,623万人（総務省統計局・令和5年8月1日概算値）となり、総人口に占める割合も29.1%と超高齢化社会が進展しております。

このような中、センターは高齢者の皆様が働く事に意欲を持ち「生涯現役社会を実現」を進めるうえでの、重要な課題になっていると考えます。これからも「自主・自立・共働・共助」の理念の基に歩んで行く事が重要と考えております。



今後も会員の皆様が仲良く、そして働く事に生き甲斐を感じられ、地域の皆様から愛される、明るく活力のあるセンターを目指して参りたいと思っております。

結びに、現代は人生100年時代と言われております。

ここに会員の皆様のご健勝・ご健康をお祈り致しますと共に、今後もセンターの組織運営につきまして、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。年頭の挨拶と致します。

理事長 竹内 利夫



新年 安全祈願



令和6年1月11日（木）、息栖神社へ新年安全祈願の参拝にまいりました。

昨年に引き続き、竹内理事長を筆頭に参加者一同、新年の安全に対する意識を新たにいたしました。いまだ新型コロナウイルスは終息にはいたっておりませんが、会員の皆様とも協力し、感染対策と安全な日常就業の両立を目指していく所存です。

皆様におかれましては、どうか今年一年、ご健勝に過ごされますよう御祈り申し上げます。

新入会員紹介

新しい仲間です。皆さんよろしくお祈りします。
◆6月～11月入会者 会員番号・氏名・地区名で記載（入会順・敬称略）

3299 石井 政雄	浜新田	3308 船木 利樹	太田	3317 新井 良一	深芝南
3300 海老根孝二	平泉東	3309 中野 正敏	大野原	3318 沖野 芳夫	知手
3301 藤土 樹	内出	3310 熊野 修	大野原中央	3319 篠塚 清	深芝
3302 新川 良子	知手中央	3311 戸来 竹美	大野原	3320 大塚 久男	筒井
3303 勝又 貞男	筒井	3312 作山美恵子	筒井	3321 大塚すみ子	筒井
3304 宮本 操	知手	3313 甲田 弘明	大野原中央	3322 原 直俊	土合東
3305 柳川 紘子	太田	3314 吉田 英夫	知手	3323 石川 誠作	大野原
3306 宮口 よし	太田	3315 塚越 健子	平泉		
3307 伊藤 博一	神栖	3316 平山 秀夫	矢田部		



令和5年10月14・15日に出店しました、かみすフェスタ2023・消費生活展のバザー品売上げは2日間で¥25,260円になりました。売上げは社会福祉協議会に寄付させていただきました。



編集後記

新年、明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナが5類に移行し、各地で様々なイベントが行われるようになり、コロナ前の賑わいに戻つつ活気が出てくるようになりました。

龍が天に昇るようにシルバー人材センターも上昇気流に乗り、活気あふれる年にしていけたらと思っております。

本年も皆様方の御健康と御多幸と御活躍を心よりお祈り致しております。

我々、広報委員一同、頑張って参りますので皆様方の御協力の程、宜しくお祈り申し上げます。

広報委員一同



お知らせ

●未就業会員の皆さまへ

センターでは、剪定・草刈・除草・障子張りなど会員を募集しています。また事務局には「就業情報」も掲示してありますので、事務局まで気軽にお声をかけてください。

「就業情報」はホームページでも公開中です。

<http://www.silver-brain.com/ibaraki/kamisu/>

●就業会員の皆さまへ

就業報告書は、配分金計算の都合上毎月翌月の5日必着をお願いしていますが、遅れて提出される方が多数見受けられます。就業終了後は、早めの提出をお願いいたします。

女性役員による会員拡大推進大会に参加して

令和5年11月7日「令和5年度女性役員による会員拡大推進大会」に初めて参加しました。

事務局から2名、女性会員3名で水戸市のセキショウ・ウェルビーイング福祉会館の会場に向かいました。午前11時前に着きましたがあいにくの雨になってしまいました。

作品等の展示案内がありましたので、当センターは「元気朝市」と「ごうの池カフェ」ののぼり旗、空き缶の風車、手芸品を展示しました。初めてのことで少し手間取りましたが、何とか形よく展示する事が出来ました。県内8センターの展示もありましたので、見学していろいろ参考になりました。

午後1時から開会のあいさつ後、鶴ヶ島市シルバー人材センター（埼玉県）理事（女性委員長）駒形農子氏による「女性委員会の意欲的な取組みについて」の講演を聞きました。数々のイベント、セミナー、講演会等を行い会員増加数が日本一になったとのこと、意欲的な活動に感心と驚きでした。引続き、県シルバー連合会女性役員と駒形氏の意見交換があり、最後に作品等を展示した各センターの活動を発表して閉会となりました。

「一度に色々な計画は大変だけど、何か一つでも計画行動しないと前に進めない」と参加メンバーの意見でした。

（矢田部：原 敏子）



広報委員会より、寄稿依頼がありましたので今回は年末に作っている「ミニ門松」について投稿します。

私の作っている「ミニ門松」は、ホームセンターで販売しているものを参考にした独自のものであり（高さ28cm）、正解かどうかはわかりませんが、最初は材料が手探り状態で何回も試作検討を行い、現在でも試行錯誤しながら取り組んでいます。容器は大ラップの芯（径8cm、高さ8cmに切断の硬ダンボール）に稲わらを1本1本接着し紅白の紐で縛りました。底板は平板（11cmに切断）を使用しました。扇飾り、梅飾りは100円ショップ（11月末に販売）で手に入れましたが、種類が店舗によりまちまちで数に限りがあり、扇・梅を統一するために一定の数を別途発注しています。一番手間がかかるのは、青竹の採取（外径2.5～3cm、節間25～30cm以上のものを選定）と作成（斜めの切り方と3本の接続等）です。青竹は切口より数日後に徐々に変色（緑～黄色系統へ）をするので青色を保させるために12月上旬より作りますが日程と時間が限られるため、製作数に限界があります。竹は会員の紹介で、竹林所有者の了解を得て採取しています。松は空地に生えている雑松を採取し、竹と同様に空地所有者に了解を得ています。

他にアルミ缶風車、ペットボトル風車等も作って展示販売していますが、皆さんも何かに挑戦してみてもいかがでしょうか。

（土合本町：加藤 時一）

